

やさしさめぐる、ひまわりまわる、
持続可能なまちづくり



ふくしま

福島ひまわり里親プロジェクト

NPO法人チームふくしま

ふくひまの 成り立ち



1 東日本大震災が発生し、大きな地震と津波の影響で福島第一原子力発電所で事故が起こりました。



2 事故により、発電所から放射性物質が放出。世界中でニュースになりました。



自分たちに何か できないか・・・
そこで
「ひまわり」と出会いました。



3 お菓子をつめる仕事をしていた福祉作業所で働く障がい者の方も影響を受け、仕事がなくなり、生活に困ることになりました。



4 この影響で「福島県はキケン」と福島県で育った農産物を買わない人が増えたり、福島県への観光客が激減したり、大きな打撃を受けました。

ふくひまの 仕組み



全国の人が
ひまわりの種を注文



福祉作業所で
種を詰めて発送



全国でひまわりが育ち、
開花。種を収穫して
福島県へ返送



福島ひまわり里親プロジェクトは 全国の人々が採れた種をまた福島に送っていただくことで防災教育につなげる取り組みです。

里親となってひまわりを育て、福島県の雇用創出、絆づくり、



福島県を走る
バスの燃料に!



福祉作業所で
種から油をとる



開花したひまわりから
種を収穫



復興のシンボル
「ひまわり」が、
福島県で開花!

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ひまわりのエネルギーで バスがまちを走ります



全国から送り届けられた種からたくさんのひまわりが福島県内で花開きます。そのひまわりの種から油を搾り、バイオディーゼル燃料へ精製し、福島を走るバスの燃料にしています。クリーンなエネルギーでまちの人が笑顔に。再生可能エネルギーの普及に貢献しています。



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



ひまわりの種がお仕事に



注文を受けた種の発送準備、送り届けられた種の搾油、その他プロジェクトに関わる業務を福祉作業所で行っています。働きがいや経済成長につながります。





ひまわり甲子園・ひまわり結婚式で つながり促進



東日本大震災があったからこそ生まれた物語を発表する「ひまわり甲子園」やひまわり畑での結婚式が観光の活性化に。

ひまわりの里親さんが全国から訪れることでつながりと交流が生まれ、日本各地の住みやすいまちづくりがより活発になることを願っています。



売り上げの一部が 生活支援に



プロジェクトの売り上げの一部を活用して、支援を必要とする方が人目を気にすることなく食品や生活用品を受け取りに行けるコミュニティフリッジひまわりを運営しています。「お互いさまの街ふくしま」と言われるよう「困ったときはお互いさま」を広める、次世代への恩送り活動です。





パートナーシップで実現する、 持続可能なまちづくり!



環境のこと、エネルギーのこと、まちづくりのこと、暮らしのこと。

小さなアクションの一つ一つが見えないところでつながって、良い循環が生まれ、より良い方向に向かっていくと私たちは信じています。

たくさんの人と共に喜びを感じたい。
それが私たちの思いです。

あなたのまちも、私たちのまちも、
そして未来のまちも、
みんなが笑顔になる活動を一緒に始めてみませんか?



お問い合わせ



事務局

NPO法人チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト事務局
〒960-8055 福島県福島市野田町6-7-8
ツインコートB103 024-563-7472
info@sunflower-fukushima.com

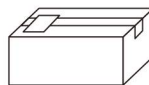
ひまわりの育て方に関するお問い合わせ

080-1690-0711
担当者: 藤島康広

採れた種の送付先

特定非営利活動法人 和(なごみ)
〒969-1403
福島県二本松市渋川字大森越122番地
0243-23-4551

「SDGsボックスをご購入された方へ」



種をお届けした箱は、採れた種をお送りいただく際にご活用ください。